

様式1

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科
スポーツV	1	2	必修	体育科

1. 科目概要および目標

(1) 目標

自然と関わりの深い野外の運動の特性について理解し、その知識と技能を習得できるようにするとともに、自然の中で行動の仕方を身につけ、自然に楽しむことができる資質や能力を育てる。

(2) 内容

・スキー

雪の平地や上り下りを滑走するクロスカントリースキー、雪の斜面を滑り降りるアルペンスキーなどがある。スキーの中核となる技能は滑降と回転である。回転の技能は、プルークボーゲン、シュテムターン、パラレルターンなど様々なものがあり、段階的な過程を踏み、それぞれの技能を習得して、斜面や雪の状態に適応できるようにする。

2. 成績評価

評価については、以下の3観点から総合的に判断する。

(1) 関心・意欲・態度

- ① 学習内容に興味・関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。
- ② スキーでの事故防止の心得を守り、寒冷地での健康・安全に留意しようとする。

(2) 思考・判断

- ① 学習内容のねらいに沿った課題を設定することができる。
- ② 資料を活用し、積極的に仲間と教え合い、各自の課題を解決することができる。

(3) 技能

- ① 場面に応じて習得した技能を選択することができる。
- ② 天候を把握し、行動計画の変更などを適切に行える。

(4) 知識・理解

- ① 学習内容や授業計画を理解している。
- ② スキー・寒冷地での事故防止の心得を理解し、知識を身につけている。

スキー実習	60%	授業・提出物	20%	その他テスト	20%
-------	-----	--------	-----	--------	-----

3. 使用教科書

カラーワイドスポーツ (大修館)

4. 授業の展開と形態

一斉・グループ授業

5. 学習方法

一斉講義・グループ学習・課題学習

スポーツⅤ 年間授業計画

月	単元	学 習 内 容	配 時	マ ー ク 欄
4	スキー	(1)スキー学習のオリエンテーション ①学習のねらい ②年間計画 ③野外実習計画 (2)実施計画の作成 ①班編制 ②役割分担 (3)スキー用語の確認	10	／
5				／
6				／
◎ 定期考査(期末)				／
7	スキー	(1)計画立案の仕方 ①日程 ②場所 ③緊急時の連絡 (2)安全対策 ①個人的要因 ②外的要因(地形・自然天候) (3)用具・道具の準備 (4)スキーや北海道についての調べ学習	17	／
9				／
10				／
11				／
12				／
◎ 定期考査(期末)				／
1	スキー	(1)スキー実習 ①団体行動 ②ゲレンデの安全・健康 ③滑走行技術(ブルーク・ボーゲン・ターン等) ④装備の点検・管理 ⑤バッジテスト (2)応急処置 ①心肺蘇生法 ②凍傷・包帯法・止血法 ③遭難に対する知識	8	／
2				／
3				／
◎ 定期考査(期末)				／

／ 単元終了日